

森林3次元システム AssistZ



概要

- 現在、植栽面積や獣害防護柵の設置に伴う測量は現地で測量を行っており測量に手間と時間がかかっている。(例)
全面積 約4ha・周囲延長 約1,000m・除地(約0.7ha)として計測した作業道周囲延長 約700mの場合、測点数 800測点・測量所要時間 約9時間・製図作業 約30分
複数の画地の測量が必要な場合、1日で計測できる面積に限られる為、測量する日数と人の確保が必要である。
- 皆伐を行った林地をドローンを用いて上空から画像データを取得して、SfM(Structure from Motion)ソフトを用いて画像を解析する。その際にオルソ画像の精度の目安となる指標を林地内に配置して、一緒に画像取得する。生成した点群データをAssist Zに取り込み、3次元化し、ソフト上で施業した皆伐地の面積を算出。システム上で指標の距離を計測し、実際の距離を測量野帳と施業図に明記する。専用の測量野帳及び施業図で計測結果を出力することが可能である。

導入効果

- 現地でのドローンを用いた画像取得作業 15分、製図作業 5時間(うち4時間はSfMソフトの解析時間)、現地の作業時間が大幅に削減が見込め、複数の画地の測量が可能になる。
また画地計測と製図作業(データ解析)が同時進行で行え、作業効率がUPになる。
- 現地での測量には複数名必要だがドローンでの計測は1人でも可能で人員削減ができる。

○対象品目

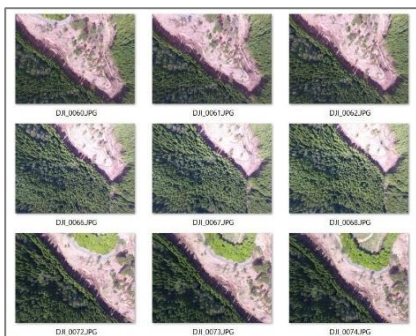
水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

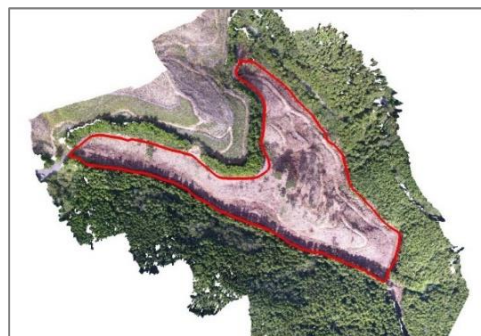
項目	林業(3) 造林・保育
技術ニーズ	施業地管理
具体的なニーズの内容	ドローンで撮影した画像を利用して造林作業の計画(下刈り要否の判定等)を行うシステム

○開発等の段階

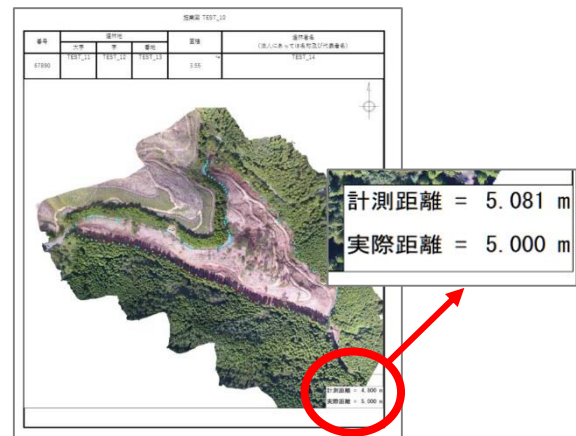
開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	2019年9月リリース
その他	



ドローンで取得した画像データ



生成した点群データをAssist Zに取り込み
面積計測



専用施業図での出力

📍連絡先
株式会社ジツタ GIS事業部
TEL:089-931-7175
[https://www.jitsuta.co.jp/
products@jitsuta.co.jp](https://www.jitsuta.co.jp/products@jitsuta.co.jp)

お問い合わせフォーム

